

# TIC NEWS

vol. **110**  
2014.1

(公財) とやま国際センター

〒930-0856 富山市牛島新町5-5

インテックビル4F (タワー111)

TEL (076) 444-2500

FAX (076) 444-2600

E-mail : tic@tic-toyama.or.jp

URL : <http://www.tic-toyama.or.jp>

## 第18回 とやま国際草の根交流賞表彰式



### ～第18回とやま国際草の根交流賞表彰式～

去る11月5日、パレプラン高志会館において、国際交流・協力活動を草の根レベルで実践している団体、個人を表彰する“とやま国際草の根交流賞”の表彰式が行われました。

# 第18回とやま国際草の根交流賞受賞者

国際交流・協力活動を草の根レベルで実践している団体、個人を表彰する“とやま国際草の根交流賞”。受賞者は以下の皆さまです。

## —とやま国際草の根交流賞—

### 【個人】

#### 木口 実 さん

富山日伯交友会の会代表としてリーマン・ショック等により困窮したブラジル人に対し支援活動を実施している。また、射水市や高岡市国際交流協会の相談員としてポルトガル語による生活相談に応じるなど多文化共生社会の実現に向けて尽力している。

#### 小西 容子 さん

富山市民国際交流協会の文化交流委員会委員長等として当協会主催の日本文化体験イベント（茶道、華道、書道）やスポーツ交流会（ヨガ、ボーリング）の企画運営に携わるなど、国際理解を深める活動を積極的に行っている。

#### 杉森 富美吉 さん

庄川町日中友好協会副会長として同協会の第14次訪中団及び第17次訪中団の副団長として訪中するとともに、毎年開催している「中国展」では、中心となって企画・実行するなど、日中友好交流の推進に尽力している。

#### 本保 勝弘 さん

富山県芸術文化協会の事務局幹事等としてハンガリー・ホルトバージ美術キャンプに参加し、友好親善に努めるとともに、とやま国際アートキャンプでは、サブプロデューサーとして運営に尽力するなど、国際芸術文化交流の推進に尽力している。

#### 吉野 一男 さん

富山県日韓親善協会の副会長等として長きにわたり韓国との経済、文化などの交流の促進に尽力している。また、富山・ソウルの定期便を実現するため、チャータ便の運航や日韓の交流に地道に取り組み平成5年の定期便就航に大きな役割を果たした。

### 【団体】

#### 南砺市綱引協会

南砺市綱引協会は台湾、マカオ、ベトナム、マレーシアなどにおいて綱引の指導・普及に努めるとともに、これらの国の綱引連盟の設立に尽力した。また、各国の綱引き関係者などを南砺市内へ招へいして綱引大会の運営、トレーニング方法の研修会を行うなど国際交流に貢献している。

#### 南砺市立吉江中学校生徒会

吉江中学校生徒会は、毎年、文房具のほか、バザー収益金の一部を図書購入費としてラオスのイーライ中学校へ寄贈している。また、平成20年7月には東アジア青少年交流事業として日本で初めてラオス高校生を受け入れ全生徒と交流を図るなど、現地の中学校、高校と積極的な国際交流活動に取り組んでいる。

#### 「日本語教室 in 氷見」ボランティアグループ

「日本語教室 in 氷見」ボランティアグループは、相互学習型の日本語教室を開催し、市内在住の外国人に対して日本語学習の支援を行うとともに、地域の生活情報・緊急災害時の情報提供等の生活支援も行うなど多文化共生の推進に貢献している。

## 国際交流フェスティバル2013

日時：平成25年11月10日(日) 10:30~17:00

場所：富山駅前CiCビル内（1、3、5F）

毎年「異文化理解と交流」を深めることを目的に開催されています。今年で17回目。イベントステージでは外国人カラオケ大会や各国の演奏や舞踊が繰り広げられ、留学生らが自国を紹介するブース、世界の民族衣装の試着体験やロシア語スピーチコンテストなど様々な催しが実施され多くの来場者で賑わいました。外国人カラオケ大会ではスペイン出身のパストル マタモロス ソフィアさんが優勝しました。



# 第15回 日中韓3か国地方政府交流会議開催

日時：平成25年11月10日(日)  
～11月13日(水)  
場所：富山国際会議場

日本、中国、韓国、3カ国の持ち回りで1999年から開かれている日中韓3か国地方政府交流会議。15回目となる今年の会議は、富山県で開催されました。

3か国の自治体関係者ら約300人が集まり、「地域の特色を活かした取組と北東アジアの相互発展」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

パネルディスカッションで石井知事は立山・黒部アルペンルートを訪れた外国人観光客が10年で6倍に増えていることなど、環境や、産業の分野での取り組みも紹介し、地方の交流の意義について語りました。

また、宮本雄二元中国大使がコーディネーターを務め、基調講演も行いました。



## ホームページに“防災情報 in 富山”新設しました!

とやま国際センターのホームページに新たに多言語防災情報（やさしい日本語、英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語）“防災情報 in 富山”を開設しました。

外国人住民の皆さんに分かりやすく富山県の防災について解説します!!

日本語 English 中文 韓国 Русский Português

TOYAMA 防災情報 (ぼうさいじょうほう) in 富山 (とやま)

Toyama International Center 公益財団法人とやま国際センター

1 災害(さいがい)を知(し)ろう

- 地震(じしん)
- 津波(つなみ)
- 大雨(おおあめ)と台風(たいふう)
- 原子力災害(げんりょくさいがい)
- 富山県(とやまけん)の災害(さいがい)

2 日々の生活(くわつ)に備(そな)えよう

- いつも 準備(じゅんび)しておく 物(もの)のリスト
- 防災(ぼうさい)カード
- 災害(さいがい)時の 日本(にっぽん)語(ご)リスト
- 災害(さいがい)時のやさしい日本語(やさしいにっぽんご)会話(かいわ)集(しゅう)
- 防災(ぼうさい)リンク集(しゅう)

※災害(さいがい)の発生(はっせい)は地震(じしん)や台風(たいふう)などです。  
※防災(ぼうさい)の準備(じゅんび)は災害(さいがい)が発生(はっせい)する前に、固(かた)まらないうちに、準備(じゅんび)を済(す)ませること。

公益財団法人とやま国際センター 〒930-0856 富山県(とやまけん)富山(とやま)市(し)中島(なかじま)町(まち)5-5 インテックビル4階(かい)  
TEL 076-444-2500 / FAX 076-444-2600 / EMAIL: tic@tic-toyama.or.jp

2003-2013 (c) Toyama International Center. All Rights Reserved.

## ～富山県海外技術研修員等受入事業～

昭和49年度から開発途上国に対する技術協力事業の一環として、技術研修員を受け入れ、技術の習得及び県民とのふれあいを通じて、開発途上国等の発展に貢献しうる人材の育成を図るとともに、国際親善の推進に寄与しています。平成25年度までに26ヶ国390名の研修員を受け入れていました。

また平成21年度から、ブラジル・サンパウロ州より教育経験のある人材を受け入れ、ブラジル人の特に多い高岡市の小学校に配置しています。研修員の日本の教育制度の修得とともに、教育現場で多文化共生に配慮した外国籍児童への学習支援を目的としています。平成25年度までに5名の研修員を受け入れていました。

6月後半から順次、来県された海外技術研修員の皆さん。生活に関する講習を受け、実際の技術研修を受ける際に必要な日本語研修を最初に受けました。

日本語はある程度習得済みの皆さんでも、いざ現場での研修となると不安も隠せない様子。日本語の先生に積極的に質問し、語学習得に励んでいました。

各研修機関での研修が始まってからは、慣れない環境の中、各自が研修に取り組みました。



華道体験

この他に、とやま国際センター主催の“とやま国際塾”や、外国人のための防災研修などに参加するなど、積極的に県民と交流し、国際交流・協力事業にも参画しました。

また、花火大会、富山まつりに参加したり、一般家庭へのホームステイ、黒部峡谷や立山も視察しました。

研修員としての短い滞在を終え、11月末には研修を終え帰国された皆さん。この研修成果を活かし、母国でますますご活躍されることを祈ります。そして、研修員を受け入れ、ご指導頂いた県内の受入機関の皆さんに厚く感謝申し上げます。



富山まつりに参加

## ～研修員受入機関の皆様には大変お世話になりました!!～



羽広 研修員



ソロマハ 研修員



朱 研修員



李 研修員



楊 研修員



ナガオ 研修員

# 平成25年度 富山県海外技術研修員の皆さん

## 海外技術研修員



羽広 エリカ (ブラジル)  
研修機関：パレプラン高志会館

2011年にブラジルで調理師専門学校を卒業し、西洋料理を中心に料理人として働きました。客船会社で何十人も料理人と共に働くうちに自分の存在が小さく感じ始められるようになり、自分以外の料理人とどう差をつけられるかと考えたとき日本料理で勝負するしかないと思い、日本での研修に応募しました。

パレプラン高志会館では和包丁の扱い方から始まり、和食、中華料理、接客などを学びました。素晴らしい料理人の方々に出会え、丁寧に説明して下さったことを本当に感謝しています。

帰国後は日本料理店で働きたいと思っています。サンパウロ市は和食ブームでたくさんの日本料理店が立ち並んでいます。和食の基本を守っているお店で働きたいです。そして和食文化についてもっと勉強し、いつかコンサルタントの仕事もしたいと思っています。



ソロマハ エレーナ (ロシア)  
研修機関：ホテルグランテラス 富山

大学では日本語や、日本経済などを勉強しましたが、その時からこの研修に是非参加したいと思っていました。また学生のときからホテルでバイトしていて、将来もロシアのホテルで働きたいと思っていましたので、富山で学んだ“お客様を満足させるおもてなし”を活用して将来も頑張りたいと思います。

日本のホテルの宿泊料金のシステムはいろんなプランがあって複雑です。ホテルグランテラス富山の皆さんにはいつも温かく指導して頂いて本当に感謝しています。

ロシアではゴミの分別はしないので、慣れるまで時間がかかりました。ちょうど飛行機が富山空港に着陸する時間にアパートの近くの河川敷をジョギングするのが日課でした。富山市はあまり坂がないので、自転車で3時間くらい街を散策したのもいい思い出です。



朱 芹 (中国)  
研修機関：富山県農林水産総合技術センター 園芸研究所

私は5年前に一度、静岡県で研修を受けたことがあります。その時は日本の自然の美しさ、出会った人たちの優しさ、礼儀正しさに感銘を受けました。日本語はほとんど忘れてしまいましたが、日本の印象は色あせることなく残っており、機会があればもう一度日本に行って、学びたいと思っていました。今回、富山県から研修を受ける機会をいただき、雲南省に日本文化と共にチューリップ栽培や日本の農業技術を広めたいという思いを持って来日しました。

富山県のチューリップ栽培は世界でもトップクラスの技術を持っています。その作業場を見学したり、技術を学んだりすることは楽しいことでした。

帰国後も日本で学んだ技術を伝え、故郷の発展に貢献できればと考えています。



李 茜 (中国)  
研修機関：(株)ニュージャパントラベル

私は中国の高校を卒業した後、日本の大学から大学院まで土木工学を勉強し、帰国し公務員になり、国際交流の仕事をしていました。

地元、遼寧省と友好提携関係にある富山県で研修できることになりました。旅行会社と国での仕事はあまり関わりがないものですが、どのように研修成果を役立てることができるか考えました。

研修中に、立山駅で台湾からの観光客に聞き取り調査をさせてもらったりしました。台湾から立山への観光客は年間10万人を超えるといいますが、遼寧省からはどうでしょう。これは深刻な課題だと思いました。

国に帰ったらまだ富山を知らない人に富山をアピールしたいと考えています。大連便の再開、北陸新幹線の開通などで、富山を訪れる中国人が増えればよいと思います。



楊 璐 (中国)  
研修機関：富山情報ビジネス専門学校

中国では国際関係の仕事をしていて、日本とのやりとりが主になるので、日本語能力を高めるだけでなく、日本人のライフスタイルなど身をもって体験したいという思いで来日しました。

富山情報ビジネス専門学校では日本語の先生のアシスタントとして研修しました。研修中に気づいたのは、日本人が日本語教育に絵を効果的に用いることです。単語や会話を絵で表すことは初級レベルの学生にとっては非常に良い方法だと思いました。

国では親と同居して料理を作ることがあまりありませんでした。宿舎の近くには外食する所も少なく、食べることに思った以上に苦労しました。帰国したらお母さんに料理を習いたいと思っています！

## 多文化共生推進研修員



ブレナ カルラ ドス サントス ナガオ (ブラジル)  
研修機関：高岡市立野村小学校

小さい頃両親と日本で住んだことがあり、もっと日本語ができるようになりたいと思い、大学で日本語の勉強を始めました。大学院では教育について学び、博士課程で日本の教育とブラジルの教育について研究したいと思い、この研修に申込みました。

富山に住むブラジルの子供は普通の日本人の行く学校に通っています。子供たちは文化の違いを超えて言葉の難しさも克服しなければなりません。これはすごく難しい問題で、ブラジルの先生がブラジル人児童をサポートするのは大切なことです。

野村小学校の先生は「児童は先生の振り舞いを見る。先生の優しさ、忍耐と教える気持ちを感じて、勉強に興味をもち元気に学校生活を送るようになる」とおっしゃいました。私もこのような先生になれるよう頑張りたいです。

# “国際協力ワークショップ(入門編) in 富山”を開催します!

私たち日本人は多くの輸入品に頼って暮らしていて、今や世界とのつながりなしには成り立ちません。しかし、私たちはその輸出国にどんな人々が暮らし、どんな世界を抱えているのかについて、あまり関心を持っていないのではないのでしょうか。

今回はワークショップという参加型体験学習を通して世界の人々と私たちのつながりについて知り、世界の問題を解決するために、地球市民としてどのような暮らし方をしたらよいかを参加者同士で考えたいと思います。みんなで足元から国際協力について考えてみませんか？

講師：朝比奈 裕子 氏（とやま国際理解教育研究会）

タイトル：世界の国々と私たちのつながり

〈日時〉 平成26年1月25日(土) 13:00~16:00

〈会場〉 富山県総合福祉会館（サンシップとやま）701研修室（富山市安住町5-21）

〈対象〉 富山県在住の国際協力に関心のある一般市民、学生（高校生以上）、教員、NPO関係者

〈定員〉 30人（事前申し込み要。定員になり次第、締め切ります。）

〈主催〉 JICA北陸

〈申込方法〉 申込用紙にご記入の上、FAXでお申し込みいただくか、必要事項（申込用紙参照）を明記のうえ、E-mailでお申し込みください。

\* 申込用紙はJICA北陸ウェブサイトからダウンロードすることも可能です。

→ URL: <http://www.jica.go.jp/hokuriku/event2013/20140125.html>

お問い合わせ：JICA北陸 開発教育支援担当 市民参加協力調整員 十郎 正義（じゅうろう まさよし）

TEL：076-233-5931 FAX：076-233-5959 E-mail：Juro-Masayoshi.2@jica.go.jp



## JICAボランティアからの現地レポート

今回はモザンビークから届いた青年海外協力隊員 平田 由香利 さんからのお便りをご紹介します。

一面に広がるヤシの木、年中通して採れる豊富な果物、また観光客が沢山訪れるビーチ、夜になると広がる満点の星空。私が恋に落ちてしまった任地モザンビーク、イニャンバネ州には、音楽とダンスが大好きな陽気な人達ばかりで、まるで南国のように時間がゆったりと流れています。そこで生活をしている農民のほとんどは農業に従事しており、自給自足の生活をしています。

私の配属先である経済活動事務所では、農民の収入向上を目指して幅広い活動に取り組んでいます。私が主に行っている活動は、村の病院を巡回して栄養講習、豊富にとれる果物を使ってジャムやドライフルーツなどの食品加工の講習、稲作の普及、そして養蜂活動に取り組んでいます。

いま特に力を入れている活動が養蜂です。村の人達は、柔らかい質の木を折り曲げて作った伝統式巣箱を使って蜂蜜を収穫しています。伝統式巣箱からは年に1回約10kgの蜂蜜が収穫できます。そこで私が普及に取り組んでいるのが、箱の中に10枚の木枠がある最新式巣箱です。

日系ブラジル人の養蜂専門家の研修に参加して養蜂の知識を習得して、自分の任地にもこの最新式巣箱を普及させようと取り組んでいます。この最新式巣箱を使ってうまく蜂の世話をすると1年を通して4回も収穫でき、さらに蜂蜜の収量もあがります。養蜂を始めた頃は、伝統式巣箱から最新式巣箱に移し変えをしては蜂が逃げてしまい、最新式巣箱のメリットを伝えることが出来ず大変苦勞をしました。また、養蜂は一人でするにはお金もかかり、作業を一人でするには苦勞することから養蜂家を集めて組織化しようと取り組みました。始めは養蜂グループに興味を持ってくれた養蜂家が何人か集まってくれるのですが、日に日に人数が減りグループが解散。それでも養蜂家たちを集めて最新式巣箱のメリットと養蜂グループの組織化することに取り組み、配属先の同僚と協力をしあって今では立派な養蜂場と養蜂グループが出来上がりました。12月から蜂蜜の収穫時期に入るので今年は何のくらいの蜂蜜が取れるかが楽しみです。



平田 由香利さん

派遣国：モザンビーク共和国

職種：村落開発普及員

派遣期間：平成24年3月～平成26年3月

配属先：イニャリーメ郡経済活動事務所

# Voices from the world

～アメリカ合衆国 オークパーク(イリノイ州)～

世界の富山ファンからのメッセージ

## 濱四津 菊枝 さん（ノーザンイリノイ大学政治学科准教授）

Q. 今、どんなお仕事をされていますか？

A. アメリカイリノイ州にありますノーザンイリノイ大学で、比較政治学、東南アジアのムスリム国家における政治と社会、宗教と政治等の研究をしています。大学では学部生と大学院生の講義もおこないます。オーストラリア国立大学で博士号を取得後、2006年にオーストラリアからアメリカに移住しました。毎年大学の夏休み中はインドネシア、マレーシアに滞在して現地調査を行います。



中央が濱四津さん。インドネシアで研究調査中。

Q. 近況について教えてください。

A. 現在の大学に就職後、シカゴ郊外のOak Park（オークパーク）という町に住んでいます。オークパークは日本でも著名なフランク・ロイド・ライトという建築家が設計した建築物で有名な歴史深く由緒正しい町です。夏休みには日本人の観光客も見かけます。大学はイリノイ州シカゴ郊外（西方約100キロ）にあるDeKalb（ディカルブ）という人口約4万人の小さな町にあります。学期中授業のある日は車を飛ばして職場に通います。シカゴは音楽、芸術等の文化が豊かなこと、また日本、アジアへの交通の便が比較的良いので仕事上便利で住みやすいところが



フランク・ロイド・ライトの建築博物館

気に入っています。冬は雪が降って風も強く、長く厳しいのが難点ですが、その辺は富山出身の私にはあまり苦にならないのかもしれませんが。

Q. 富山とはどんな結びつきがありますか？

A. 富山市で生まれて小学校から高校までずっと富山に住んでいました。祖父、父、弟も私も皆富山高校出身です。両親は富山で健在です。

Q. 最後に富山の人に一言メッセージをお願いします。

A. 富山には頻繁に帰りますが、帰るたびにどんどん綺麗になって美味しいものもたくさんあって毎回帰るのが楽しみです。

## こんな“国際交流”やっています！

### “ブラジリアン フェスティバル”

### Capoeira Narahari（富山市）

～TICから助成した事業をご紹介します～

Capoeira Narahari は2009年より、富山県内の保育園、小学校などで、ブラジルの伝統的な格闘技カポエイラをはじめ、ブラジル文化の紹介を行っている団体です。

さる8月25日に“まるごとブラジルを体験しよう！”をテーマにサンバ、ポサノヴァやカポエイラが楽しめるブラジリアン フェスティバルが富山市総曲輪グランドプラザで開催されました。

サンバのバンド演奏や、東京で活躍するフランス・シルヴァさんのパンデイロのパフォーマンスには会場も盛り上がり大変盛り上がりました。



カポエイラのワークショップ

# パイ・ク・スムントゥナ

Pui cu Smântână

ルーマニア語で、パイは鶏肉、スムントゥナはサワークリームの意味です。ルーマニアでおなじみの主食、ママリガ（コーンミール粥）と共によく食べられる一品です。

ルーマニア出身

小室 ミハエラさん お薦め料理！



## ～作り方～

1. 鶏肉を30～40分ゆでる。ゆで汁はとっておく。ゆで上がった後、鶏肉の水気を切り、熱したフライパンにオリーブ油をひき両面を焼く。きつね色に焼けたら皿に取りだしておく。
2. 玉ネギをみじん切りにし、少し茶色っぽくなるまで炒める。
3. 2に小麦粉を加え、3～5分炒める。
4. 3にサワークリーム（又はヨーグルトと牛乳）を加え混ぜ、塩を加え5分程煮こむ。
5. ここでソースがだまになったりしている場合は鶏肉のゆで汁を少し加える。
6. 鶏肉を戻し、5～10分程度煮こむ。
7. 盛り付ける際は、輪切りにしたレモン、ピーマンや、炒めた細切りベーコン、そしてイタリアンパセリなどで飾り付けるときれいです。



## ～材料～

- むきエビ…………… 14個
- 鶏モモ肉(骨付き)…………… 5本
- (ドラムスティック)…………… 1個
- 玉ネギ…………… 1個
- サワークリーム…………… 250ml
- 又は
- (ヨーグルト…………… 100ml
- 牛乳…………… 150ml
- 小麦粉…………… 大さじ1
- 塩…………… 小さじ1/2
- オリーブ油…………… 少量
- トッピング
- ベーコン…………… 少々
- イタリアンパセリ…………… 〃
- ピーマン…………… 〃
- レモン…………… 〃

## TICからのお知らせ

### これからの行事予定

#### 日本海学特別講座

#### 森里海のつながり講座 第3回 “大気”

- 1月25日(土) 県民会館304号室
- 1時限 13:30～14:50
- 「富山湾の特異な気象はなぜ」
- 講師：富山地方気象台 次長 奥 清次 氏
- 2時限 15:00～16:20
- 「富山湾の蟹気楼～そのしくみと歴史～」
- 講師：魚津埋没林博物館 学芸員 石須秀知 氏

#### 日本海学講座

- 2月22日(土) 14:00～15:30 県民会館304号室
- 「環日本海地域の経済状況 -ロシアとの関連から-」
- 講師：環日本海経済研究所 所長 西村可明 氏

#### JET世界まつり2014

- 2月16日(日) 12:00～16:00 富山市民プラザ
- テーマ “富山でオリンピック！”
- ステージアトラクション、出身国紹介ブース、キッズコーナー、国際カフェ、異文化体験コーナー

#### 国際交流人材バンク

#### 災害時外国人支援ボランティア募集!!

地震などの大規模な災害時に日本語の理解が十分でなく、必要な情報を得ることが困難な外国人住民を支援するため、通訳・翻訳を通じた情報収集・提供等の活動を行って頂くボランティアを募集します！

詳細はとやま国際センターホームページをご覧ください！

### 環日本海交流会館 新着図書のご案内

～新しく図書が入りました！～

- アーサーの言の葉食堂
- できる日本語 中級 本冊
- どんなときどう使う 日本語表現文型200
- 外国語としての日本語 その教え方・学び方
- マンガでわかる実用敬語 初級編
- 9割の日本人が知らない「日本語のルール」
- 漢字だいじょうぶ！
- 日本語ぽこりぽこり 等



### (公財)とやま国際センター賛助会員募集及び寄付のお願い

公益財団法人とやま国際センターは、民間レベルの国際交流、国際協力を推進するため、様々な事業に取り組んでいます。TICの事業にご支援いただける賛助会員の方を募集しています。

年会費（1口）個人会員 3,000円  
団体会員 30,000円

また、財政基盤の充実を図るため、寄付についてもよろしくごお願い申し上げます。